

函館空港周辺騒音測定局位置図



地図出典：国土地理院ホームページ 地理院地図（電子国土web）を加工して作成

空港所在地情報

- 所在地 北海道函館市高松町511
- 位置 北緯：41°46'12" 東経：140°49'19"
- 標高 111.9 ft（34.1m）

函館空港 航空機騒音監視測定局における航空機騒音測定結果

南北海道教育センター測定局（12側）（北海道函館市湯川町3-38-25）

測定年	測定項目	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	年間値	WECPNL 年間値（参考）
平成31年	Lden	50.7	51.2	53.4	52.9	53.5	51.9	51.9	52.7	53.6	53.3	53.7	52.4	53	66.4
令和2年	Lden	52.2	52.7	50.9	49.1	47.3	48.1	48.9	51.5	50.3	52.0	53.2	50.1	51	64.6
令和3年	Lden	46.0	46.3	48.7	50.2	50.0	49.0	49.6	50.3	49.4	51.6	52.8	51.7	50	63.9
令和4年	Lden	50.1	48.6	52.3	52.2	52.7	52.6							52	65.4
令和4年 （参考）	WECPNL	64.1	61.9	66.2	65.7	66.5	66.3							65.4	
	騒音発生回数	889	691	1,009	1,080	1,399	1,712							6,780	
	騒音の最大値の平均	75.5	74.3	77.4	76.5	76.4	75.3							76.1	

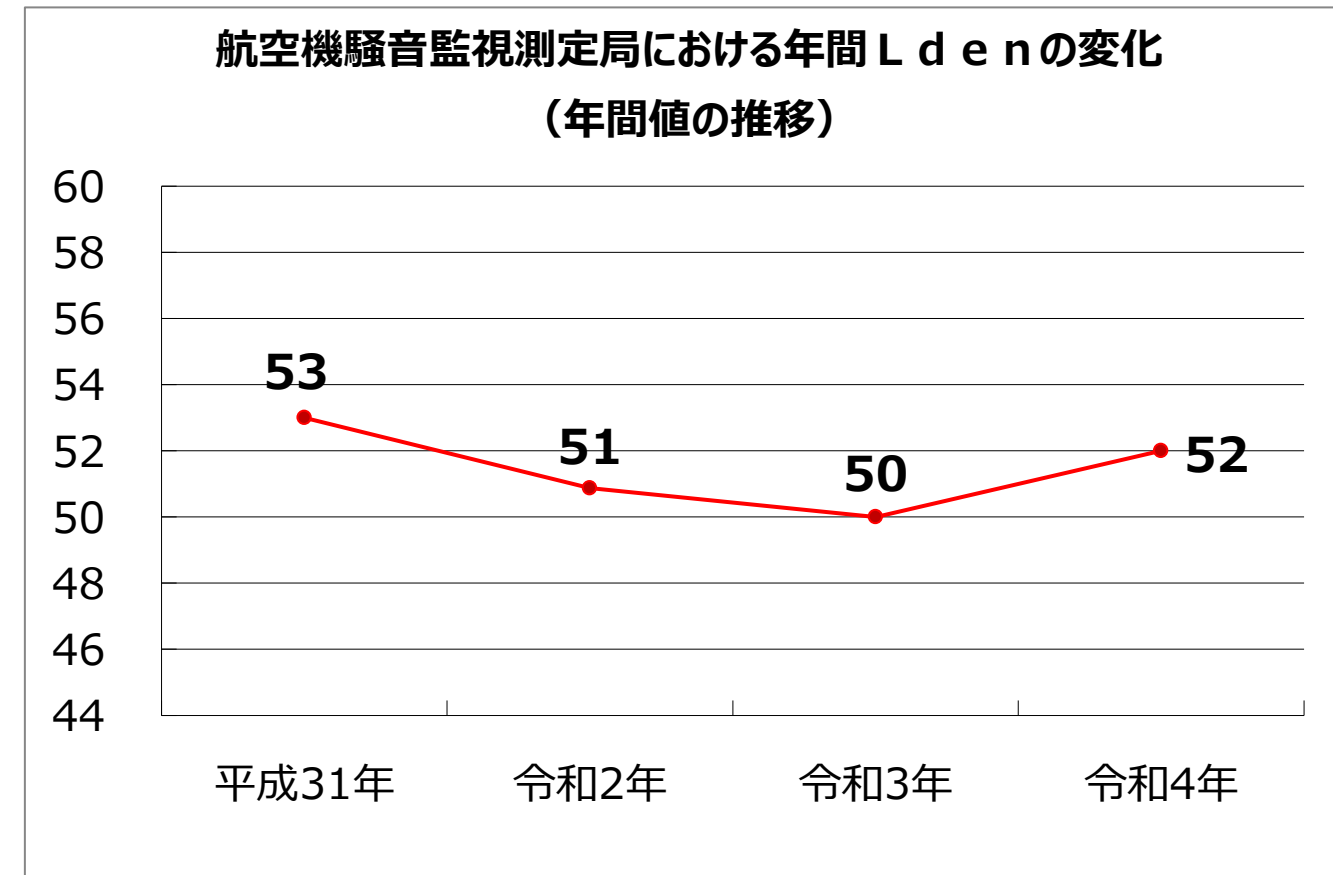
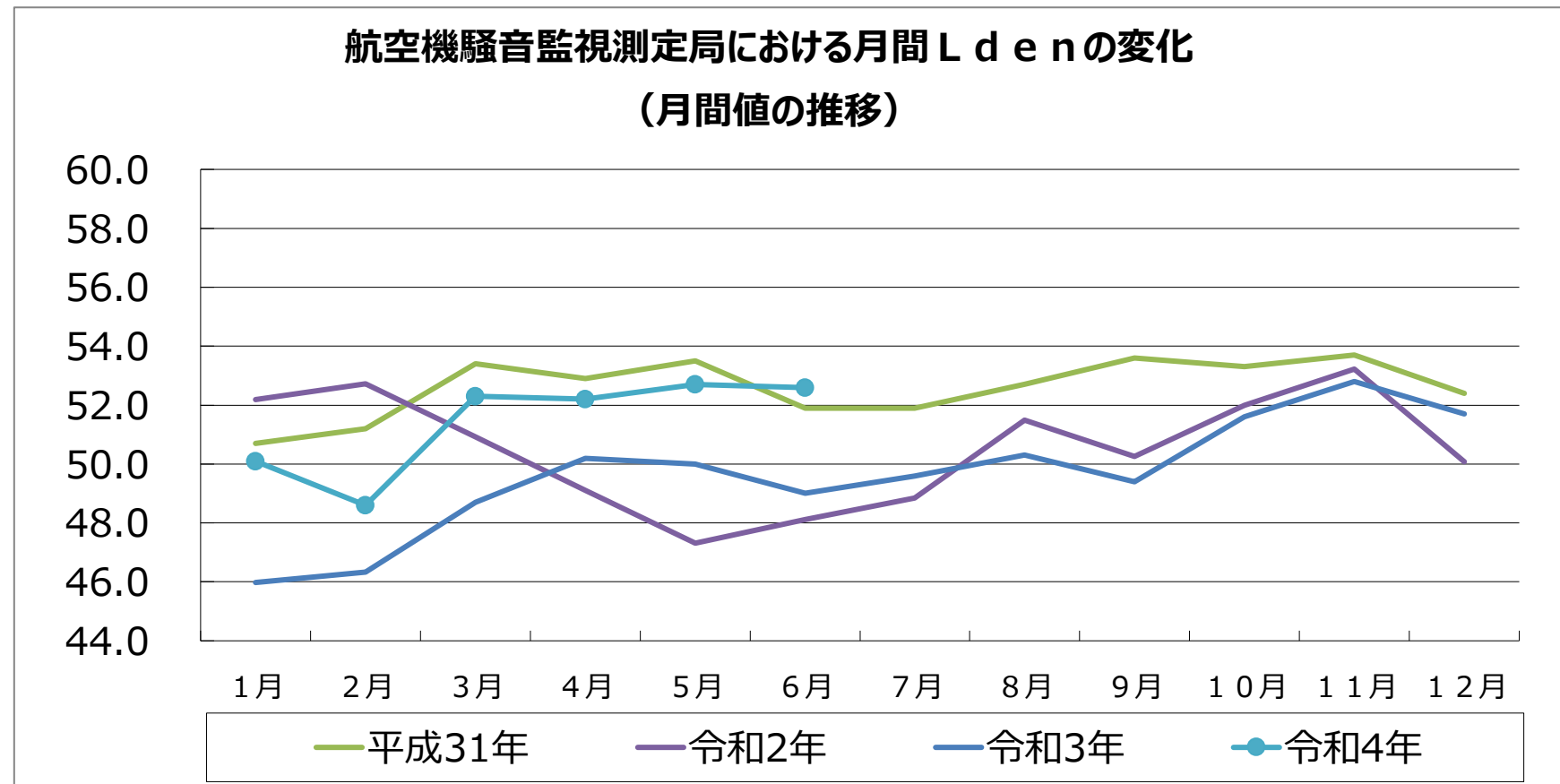
※ 平成25年度から航空機騒音に係る環境基準の改正により航空機騒音の評価指標が、WECPNLからLdenに変更されました。

※ Ldenとは、「時間帯補正等価騒音レベル」のことで、夕方の騒音、夜間の騒音に重み付けを行い評価した1日の等価騒音レベルを示します。単位はデシベル（dB）。

※ WECPNLとは、「加重等価継続感覚騒音レベル」のことで、昭和48年から平成24年までの間において適用されていた航空機騒音に係る環境基準です。

※ 騒音の最大値の平均は、騒音の発生ごとに観測された騒音レベルの最大値をパワー平均した値であり、騒音発生回数とともにWECPNLの算出に用いられます。単位はデシベル（dB）。

※ 函館空港では、令和3年3月から北海道エアポート（株）函館空港事業所が航空機騒音の測定を行っています。令和3年2月以前は東京航空局函館空港事務所が測定したものです。



函館空港 航空機騒音監視測定局における航空機騒音測定結果

AGL-B測定局（30側）（北海道函館市古川町160-9）

測定年	測定項目	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	年間値	WECPNL 年間値（参考）
平成31年	Lden	52.5	52.7	53.8	53.4	53.5	51.3	51.5	52.6	54.0	53.1	54.4	54.3	53	67.6
令和2年	Lden	53.2	52.9	51.5	49.5	46.9	47.5	47.0	50.4	49.4	51.9	53.9	52.8	51	65.7
令和3年	Lden	49.2	48.6	50.1	50.5	50.3	47.6	47.6	48.7	47.6	51.5	53.2	54.4	51	65.2
令和4年	Lden	52.2	50.0	52.1	52.4	52.7	51.0							52	66.4
令和4年 （参考）	WECPNL	67.1	64.8	66.7	66.7	66.9	65.2							66.4	
	騒音発生回数	519	409	559	574	554	491							3,106	
	騒音の最大値の平均	81.4	80.0	81.0	80.7	80.8	79.6							80.7	

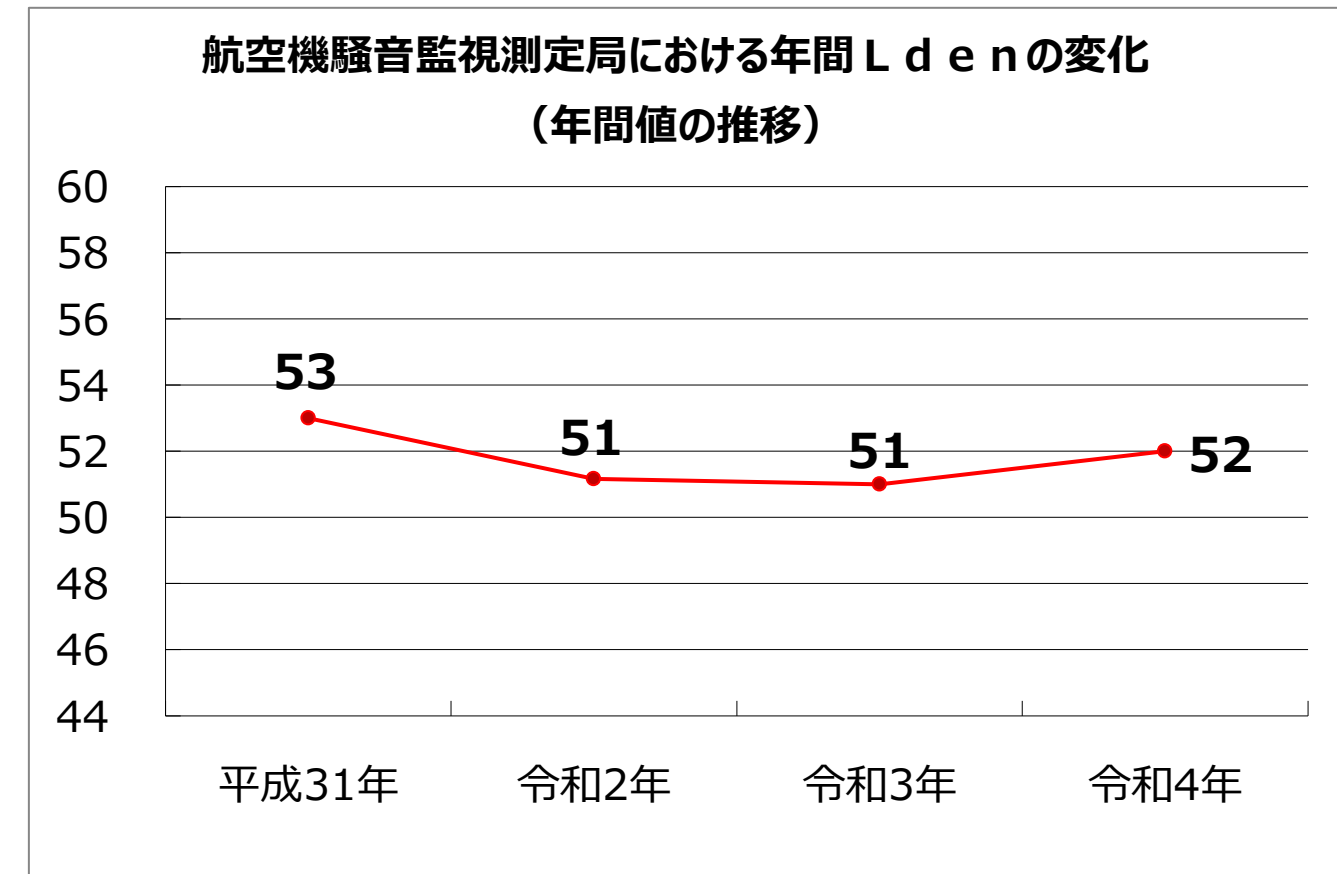
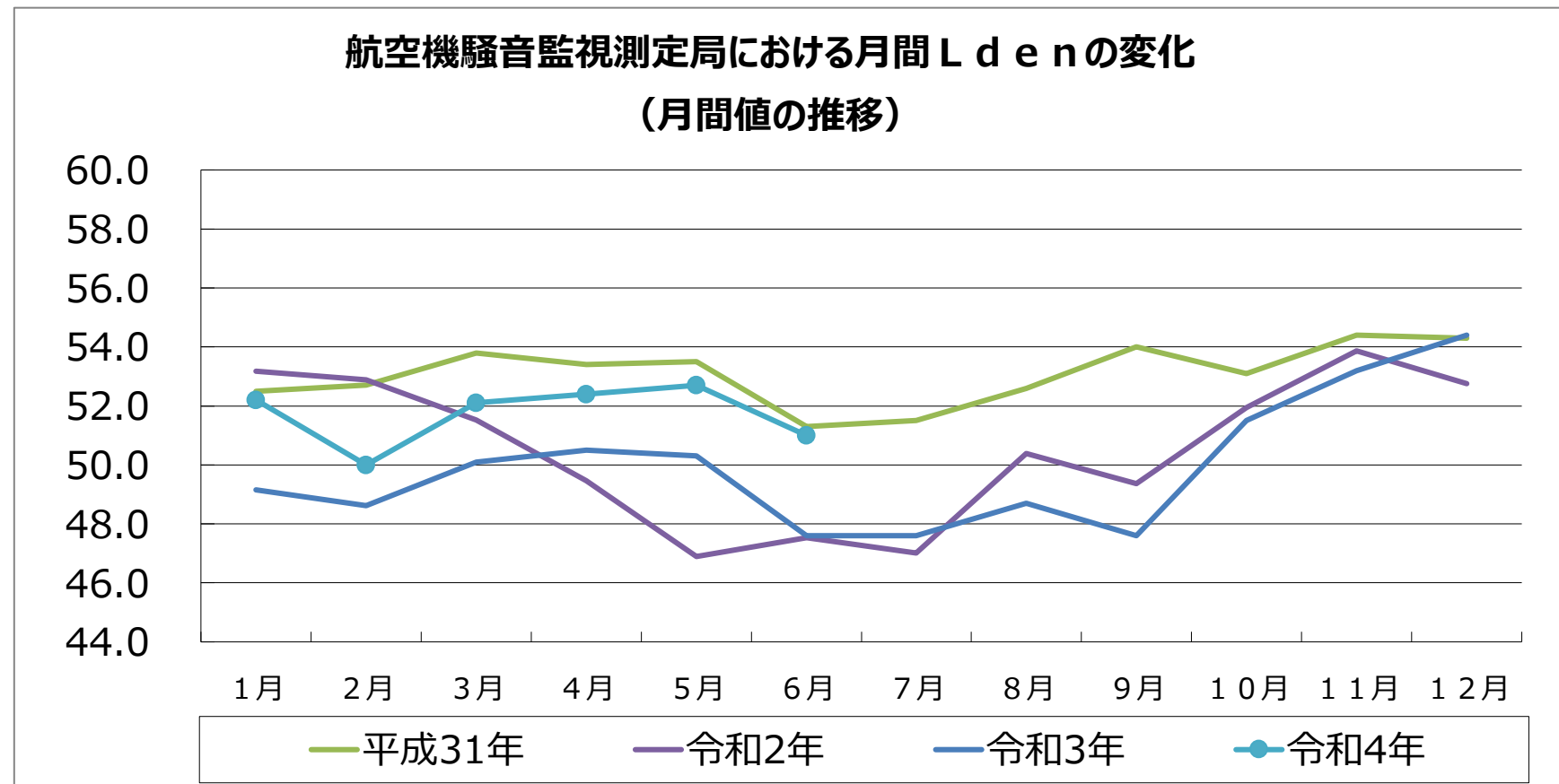
※ 平成25年度から航空機騒音に係る環境基準の改正により航空機騒音の評価指標が、WECPNLからLdenに変更されました。

※ Ldenとは、「時間帯補正等価騒音レベル」のことで、夕方の騒音、夜間の騒音に重み付けを行い評価した1日の等価騒音レベルを示します。単位はデシベル（dB）。

※ WECPNLとは、「加重等価継続感覚騒音レベル」のことで、昭和48年から平成24年までの間において適用されていた航空機騒音に係る環境基準です。

※ 騒音の最大値の平均は、騒音の発生ごとに観測された騒音レベルの最大値をパワー平均した値であり、騒音発生回数とともにWECPNLの算出に用いられます。単位はデシベル（dB）。

※ 函館空港では、令和3年3月から北海道エアポート（株）函館空港事業所が航空機騒音の測定を行っています。令和3年2月以前は東京航空局函館空港事務所が測定したものです。



函館空港 航空機騒音監視測定局における航空機騒音測定結果

【航空機騒音監視測定局に関するその他の情報】

南北海道教育センター測定局（12側）

- ・令和3年8月17日 機器メンテナンスのため一時システム停止（47分間）
- ・令和3年9月10日 機器不具合の修繕のため一時システム停止（1時間15分）
- ・令和4年1月12日 機器メンテナンスのため一時システム停止（13分間）
- ・令和4年5月9日 機器メンテナンスのため一時システム停止（55分間）

AGL-B測定局（30側）

- ・令和3年8月17日 機器メンテナンスのため一時システム停止（40分間）
- ・令和3年8月26日 機器不具合の修繕のため一時システム停止（29分間）
- ・令和4年1月12日 機器メンテナンスのため一時システム停止（15分間）
- ・令和4年5月9日 機器メンテナンスのため一時システム停止（30分間）

函館空港 航空機騒音監視測定局における航空機騒音測定結果、滑走路運用の割合（令和3年（2021年））

○函館空港 航空機騒音監視測定局における航空機騒音測定結果

令和3年（2021年）		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	年間値
南北海道 教育センター 測定局 (12側)	Lden (dB)	46.0	46.3	48.7	50.2	50.0	49.0	49.6	50.3	49.4	51.6	52.8	51.7	50
	WECPNL	60.0	60.5	62.8	63.8	63.9	63.2	63.6	64.4	63.2	65.4	66.3	65.6	63.9
	騒音発生回数 (回)	654	566	780	1,094	1,197	1,300	1,751	1,485	1,403	1,231	1,089	1,027	13,577
	騒音の最大値の平均 (dB)	73.0	74.4	75.7	74.8	74.9	73.7	72.7	74.2	73.3	75.9	77.1	76.6	74.8
AGL-B 測定局 (30側)	Lden (dB)	49.2	48.6	50.1	50.5	50.3	47.6	47.6	48.7	47.6	51.5	53.2	54.4	51
	WECPNL	64.3	63.6	64.6	65.1	64.4	61.9	61.4	62.9	61.8	65.9	67.9	69.6	65.2
	騒音発生回数 (回)	430	374	454	547	492	435	478	515	433	543	592	574	5,867
	騒音の最大値の平均 (dB)	79.5	79.3	79.9	79.4	79.2	76.9	76.3	77.3	76.8	80.1	81.6	83.4	79.8

○函館空港における滑走路運用（離陸・着陸の飛行方面）の割合

令和3年（2021年）		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	年間値
離陸	12運用（古川町方面へ離陸）	21.8%	18.4%	27.1%	41.7%	52.9%	80.1%	88.2%	74.8%	78.4%	42.6%	33.5%	27.6%	51.1%
	30運用（湯川町方面へ離陸）	78.2%	81.6%	72.9%	58.3%	47.1%	19.9%	11.8%	25.2%	21.6%	57.4%	66.5%	72.4%	48.9%
	合計	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
着陸	12運用（湯川町方面から着陸）	23.9%	20.5%	26.2%	41.5%	54.0%	80.4%	87.2%	75.3%	79.4%	42.2%	31.9%	23.6%	50.9%
	30運用（古川町方面から着陸）	76.1%	79.5%	73.8%	58.5%	46.0%	19.6%	12.8%	24.7%	20.6%	57.8%	68.1%	76.4%	49.1%
	合計	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

<函館空港における滑走路運用のイメージ>

